

第4回中国・四国地区 高等学校PTA連合会大会愛媛大会報告

県高P連監事(小野田高等学校会長) 縄田 誠

令和4年7月26日(火) 松山市の愛媛県民文化会館において、第4回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会愛媛大会が開催されました。「笑顔から始まる絆づくり〜無限の可能性を秘めた子どもと共に〜」をテーマに、中・四国各県から約1300名、山口県からは44名の会員が集い、熱心な協議を繰り広げました。

新型コロナウイルスの感染拡大により2年続いて中止となっておりますが、座席の両隣を空席にして人数を減らすとともに、座席指定の措置を執るなど感染対策を執った上の開催となりました。

開会式では、中国・四国地区高等学校PTA連合会長 飛地明國会長、全国高等学校PTA連合会 山田博章会長による開



会長発表

会挨拶をいただきました。

開会行事の後、元サッカー日本代表監督で、現在は(株)今治・夢スポーツ代表取締役会長で日本サッカー協会副会長の岡田武史氏より「今治からの挑戦!」と題して記念講演がありました。

岡田氏は今治でサッカーチーム運営会社を立ち上げ、複合型スタジアム建設を目標に活動され地元企業からのバックアップもあり、2023年に開業予定とのことでした。「これからの社会を生き抜くには知性よりも経験値、主体性をもって自分で生き残る道を探さないと持

けない。持続可能な社会を築くためには「物の豊かさ」より「心の豊かさ」を大切にすることが大切にする社会創りに貢献したい。地球は未来を生き



情報交換会

る子どもたちから借りているもの、子どもたちのために今治から活動を広げていく。」と熱く語られました。

続いて高校生発表では、過疎化により生徒数が減少する中、学校存続のため高校の魅力づくりに取り組んでいる7つの高校の取組や吹奏楽の演奏がありました。どれも素晴らしい発表でした。

PTA研究協議では、山口・香川・愛媛県三校のPTAが取り組む活動発表があり、山口県立山口中央高等学校PTA顧問で山口県公立高等学校PTA連合会 中村二朗会長から「地域とともに地域と連携し進化していくPTA活動」をテーマに発表がありました。山口中央高等学校では学校運営協議会との協力や小中高の連携で「あいさつ運動」、高校生熟議2021の名称でこれまで話し合われる機会がほとんどなかった校則について、PTAと生徒会共同主催で「熟議」を開催した発表がありました。

閉会行事が行われ、来年の開催県となる岡山県に引き継がれ、愛媛大会は終了しました。

最後に開催県である愛媛県の皆様、準備・運営等、大変お疲れ様でした。どこを見ても愛媛県が詰まった素晴らしい大会に参加させていただき感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



大会会場

【事務局からのお知らせ】

山口県公立高等学校PTA連合会ホームページから、これまでに発行された全国高P連会報、山口県高P連会報をご覧ください。

ぜひご覧ください。

(<http://ymg-kpren.jp/>)